

# 第6回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、多職種による事例検討を行います。

現在でも緩和ケア病棟は「最期を迎えるところ」などの誤解があります。今回は大学病院から緩和ケア病棟へ転院した2事例を振り返りスムーズな移行について検討していきたいと思います。

- 日程：平成27年11月14日(土)
- 時間：15：00～17：00（14:30分受付開始）
- 場所：山口大学医学部附属病院 2病棟6階カンファレンス室

開会挨拶 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター准教授 吉野 茂文先生

司会 山口大学医学部附属病院 宮内 貴子

## 事例1：15：00～16：00（各演者10分、全体討議40分）

大学病院から在宅へ移行後に緩和ケア病棟で看取りを迎えた20歳代のMFH症例

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 松元 満智子先生  
徳山中央病院 副看護師長 佐々木 文子先生

## 事例2：16：00～17：00（各演者10分、全体討議40分）

大学病院から緩和ケア病棟で看取りを迎えた胃がん症例

山口大学医学部附属病院 看護師 岡村 倫子先生  
山口宇部医療センター 看護師長 齊藤 千恵先生

## 参加費:無料 対象:医療関係者

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。駐車券は、事例検討会受付までご持参ください。

問合先:山口大学医学部附属病院  
腫瘍センター事務局(担当 三上)  
Tel:0836-22-2170

